インターンシップを受けて

大学３学年

　私は人権センターで4週間のインターンシップを経験させてもらいました。インターンシップでは主に冊子の制作を行い、その他セミナーへの参加などをさせていただきました。

　冊子制作ではまず、「性的マイノリティ」というテーマを決め、台割案と企画書の作成を行いました。私は冊子制作についてわからないことばかりでしたが、職員のみなさんが丁寧に説明してくださり、進めることができました。私は全体的な構成、企画、文章作成を行いましたが、その工程の中で私一人ではできないことが多く、周りの方に助けられてばかりでした。

　さらにインターン期間中には二つのセミナーに参加しました。一つは、ハンセン病資料館で開催された夏期セミナーに二日間参加し、ハンセン病への理解をより深めることができました。資料館を見学するだけではなく、回復者のお話を聞き、学芸員の方に療養所の中を案内してもらい、今まで知らなかった療養所の生活や宗教について深く学び、知ることができました。もう一つは、人権センターで行われたコンパシートセミナーにも参加し、参加者の方と新聞を使ったワークショップを行う中で意見交換をすることができました。ワークショップでは人権に関する記事を選び、それがどのような人権に区分されるか、種類分けをして、意見交換をするという内容でした。他の方のあらゆる意見を聞けて、自分の考えをさらに強めることや考え直すこともできました。

　今回の実習では色んなことを学ぶことができました。実際にインターンシップを経験しなければ、わからないことが多かったです。ホームページを見て、人権センターがどのような機関なのか事前に調べてはいましたが、業務内容までは全くわかりませんでした。インターンシップを始める前は不安ばかりでしたが、職員の方に優しく教えていただき、不安もなくなりました。また、業務内容以外のことでも社会人としての姿勢やマナーも学ぶことができたのでよかったです。

さらに人とのつながりの大切さを改めて感じ、自分ができないことを再発見し、見直すこともできました。職員の方々をはじめ、インターンシップ中に関わった方々には大変お世話になりました。４週間経つのが短く感じるほど、充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

（本寄稿は、平成27年度夏季において実習を受けた学生からのものです。）